

令和1年12月14日開催 第171回起業の鉄則研究会 報告書

起業の鉄則研究会(リーダー: 小林宏至副会長)

令和1年12月14日(土) 神戸市兵庫区の甲南アセット本社6階にて、本年度第7回目(通算171回目)の起業の鉄則研究会を開催しました。第一部ではビジネスモデルの事例報告をピッチ形式で発表するという初めての試みを行い、第二部では3月1日(日)に開催予定のビジネスモデル・コンテスト 代表の小西先生を講師に迎え、総勢23名の参加を得て、活発な質疑応答が繰り返され、大変有意義な勉強会となりました。都合により研究会に参加できなかったシースカイ 代表: 岡二郎様、含む4名が懇親会でビジネスモデルを発表され、懇親会までビジネスモデルについて大いに盛り上がりました。

◆第1部:「食事産業育成計画」

講師: お料理研究家 土井 敏久 氏

女性と高齢者の自立自営支援の「ライブフーズアカデミー」。0歳~90歳までの方を対象に、家庭料理を飲食店の考え方でビジネスとして提供する社会貢献型のビジネスモデル。物販と販促的な教室及び飲食店経営です。コミュニティカフェでのポイントは人を雇わないこと。判っている仕事をやり方を変えた飲食店をやりましょうとCSCワークショップの考え方の提案を行っている。

◆第1部:「やさしいきもちがみらいをつくる」

講師: ㈱宮田運輸 国際CSV事業部、こどもミュージアムプロジェクト協会 事務局長 谷知 雅文 氏

生産性を追求していた矢先、会社のトラックが死亡事故を起こす。絶望から思いついたのが、安全走行を願うこども達の絵をトラックにラッピングする「こどもミュージアムプロジェクト」。こどもの絵を背負うと自然に運転が優しくなり事故が減る。優しさが優しさと呼ぶ社会へと願い挑戦しています。

◆第1部:「アバターロボット“temi””s-mobi”の実証実験」

講師: Creative Service Kingdom(株) 代表(大阪府立大学2回生) 野田 蛭太 氏

アバターロボットとは人が遠隔から操作し、ロボットが体験したことを自分の体で体験できる人間の分身である。経済産業省やANAが検証導入し到来も近い。車椅子ルートマップを全国各駅へ完全整備し、アバター車椅子「s-mobi」を活用し、企業と車椅子利用者を繋ぎ、社会貢献と経済活動をサポートしたい。

◆第2部:「“ビジネスモデル”を考える~新しい時代と社会への挑戦~」

講師: 兵庫県立大学 名誉教授 小西 一彦 氏

現在は「戦略経営」の時代である。最適なビジネスモデルを発見し、体系化し、戦略として具体化し、それに基づき「戦略経営」をタイミングよく、正しく、実践していくことが、ビジネスの成功確率を高くする最重要で喫緊の課題である。最近では社会問題解決型で近代経営の手法を取り入れたソーシャルビジネスベンチャーが有望である。是非、3月1日開催予定のビジネスモデル・コンテストにご応募ください。

小林宏至塾長からは、ビジネスで重要なのは利益の追求及び納税や社会貢献活動、啓蒙等の社会貢献です。needを意識した社会の問題解決型のビジネスモデルを考えてください。また、モノづくりから5G、IOT、AIを活用した情報分野のビジネスモデルも時代が必要としています。コンテストにご応募ください。

次回は、2020年2月8日(土)14時から。甲南アセット本社にて開催予定。

